

令和4年度 一之江第二小学校校内研究

研究構想図

<本校の教育目標>

◎よく考え、進んで学習する子ども ○思いやりがあり、助け合う子ども ○体力のある元気な子ども

児童の実態

- ・基礎的な計算などはできるが、考えを友達や全体に説明することが苦手な児童が多い。
- ・対話を通して学びを深めていくことが難しい。

教師の課題

- ・算数科の1単位時間の基本的な授業展開について、共通理解を図りたい。
- ・数学的な見方・考え方を豊かにする指導方法への理解を深めたい。

研究主題

すすんでみんなが伝え合い学びを深める 算数の授業
～数学的な見方・考え方を働かせて～

研究の視点

- ①数学的な見方・考え方を働かせて、自分の考えを伝え合う指導の工夫
 - ・数学的な見方・考え方への理解
 - ・伝え合い活動の工夫
- ②問題発見をして「主体的な学び」をする児童の育成
 - ・導入や単元計画の工夫
 - ・伝え合い活動の工夫

目指す児童像

- ・自らの考えを、分かりやすく伝えることができる児童。
- ・「数学的な見方・考え方」を働かせて、数学的活動に取り組む児童。

研究仮説

教師が数学的な見方・考え方を明確にして、学習活動を工夫した算数の授業をすれば、すすんで自分の考えを相手に伝えることがで、学びを深める児童が育つだろう。